

クリニカルパス通信

クリニカルパスとは？



クリニカルパス

1985年に米国のKaren Zanderによって開発され1995年頃より日本に導入されました。

日本クリニカルパス学会によると「患者状態と診療行為の目標、および評価・記録を含む標準診療計画であり、標準からの偏位を分析することで医療の質を改善する手法」と定義されています。

パスのメリットは？

病院・医療従事者のメリットは、医療が標準化される、チーム医療が推進される、教育ツールとして仕様できる、病院経営も改善されるなどが言われています。患者・家族にとっては入院中の経過や治療内容がわかりやすく安心感して入院生活を送ることができることなどがあります。

新パス紹介

去る7月、8月、9月のパス委員会にて新しく15個のパスが承認されました！

1. 痔核硬化療法（外科）
2. 術前ヘパリン置換（外科）
3. S状結腸捻転症（外科）
4. 腸閉塞改善後（外科）
5. 胃十二指腸ポリープ切除（外科）
6. 肛門周囲膿瘍（外科）
7. 頭部外傷（外科）
8. 胃十二指腸潰瘍出血露出血管あり①（外科）
9. 胃十二指腸潰瘍出血露出血管あり②（外科）
10. フレイルパス（外科）
11. PEG交換外来（外科）
12. PEG-J造設当日入院（外科）
13. 小児鼠径ヘルニア入院2泊3日（小児科）
14. 急性腰痛症（整形外科）
15. 大腿骨近位部骨折（整形外科）

2018年度年間パス適用数最終ランキング発表！

2018年度前期パス適用数ランキング！

第1位：軽症外症（外科）	68
第2位：白内障手術（眼科）	50
第3位：西3階病棟看護パス（看護科）	36
第4位：ERCP/EST（外科）	30
第4位：急性腰痛症（外科）	30
第6位：腸閉塞軽症（外科）	25





現在運用中のパスは149個

外科・呼吸器外科	100
形成外科	15
眼科	5
婦人科	6
内科	2
整形外科	4
脳神経外科	2
泌尿器科	3
小児科	6
循環器内科	1
看護部	5

平成30年度第1回・2回ミニパス大会

8月8日と10月5日にミニパス大会が開催されました！
沢山のご参加ありがとうございました。

第1回ミニパス大会（平成30年8月8日）

1. 「救急疾患に対するクリニカルパス」
クリニカルパス委員長 木戸川秀生

第2回ミニパス大会（平成30年10月5日）

1. 「胃瘻パスの検討」
クリニカルパス委員長 木戸川秀生
2. 「クリニカルパスの監査 ～診療報酬からの視点～」
経営企画課 竹佳子

【2018年7～9月パス適用率】

